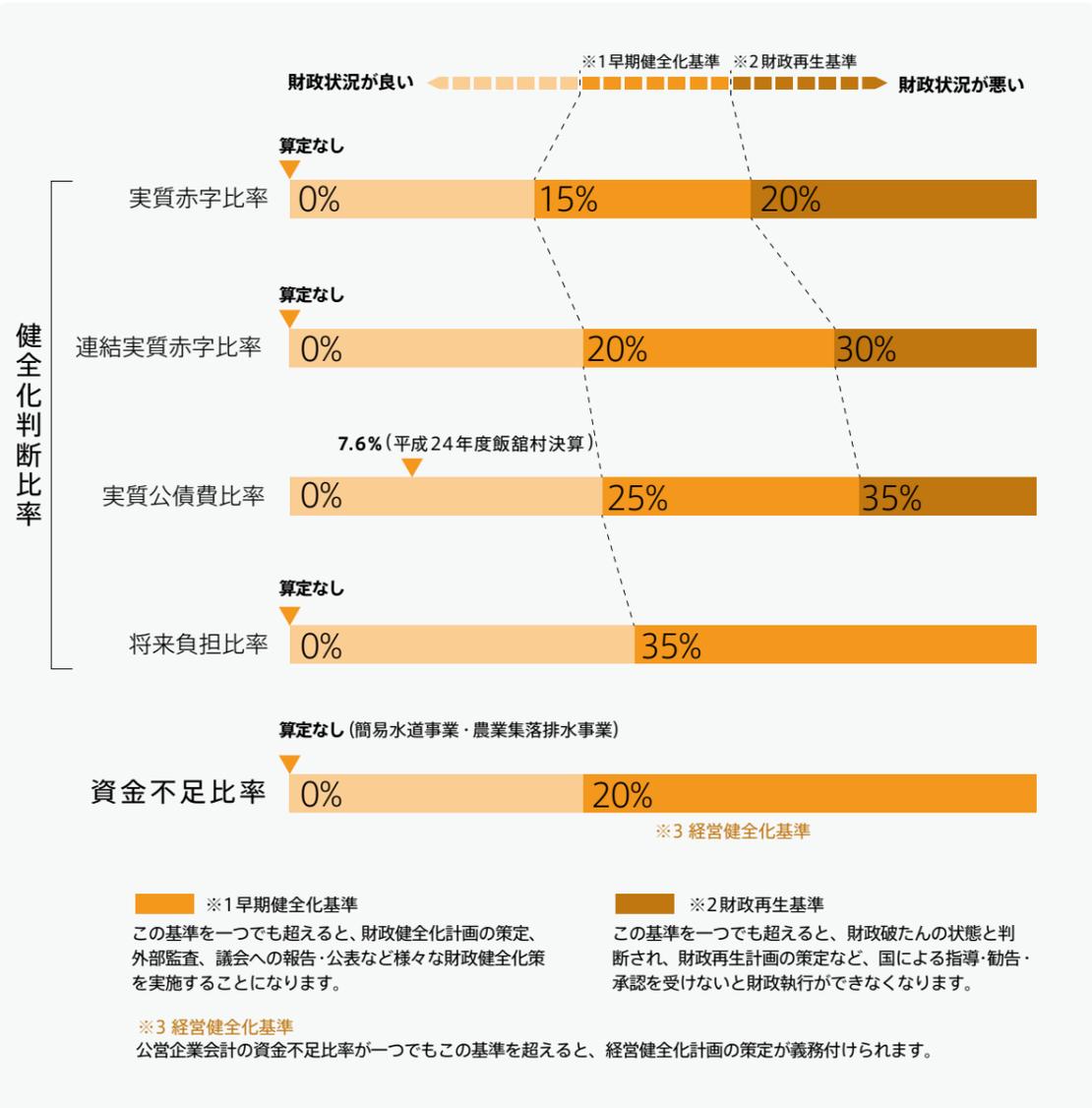


# 飯館村の 財政状況指標

平成24年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による飯館村の健全化判断比率等を公表します。

本村の平成24年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。平成23年度と比較すると、「実質公債費比率」が1.0ポイント減少し、「将来負担比率」は昨年に引き続き算定されないなど、数値の改善が見られました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にあります。引き続き、適正な財政運営に努めます。



## 用語の解説

- 実質赤字比率  
一般会計等に生じている赤字の程度
- 連結実質赤字比率  
全ての会計を合わせた赤字の程度
- 実質公債費比率  
(借入金の返済額)の割合
- 将来負担比率  
将来に支払う予定にある負債の割合
- 資金不足比率  
公営企業会計の事業規模に対する資金不足の割合

# 平成24年度に 実施した主な施策

昨年度は、東日本大震災と原子力災害からの復興に向けたさまざまな施策を行ってきました。

村の復興計画の5つの基本方針に基づき、主な施策の成果を紹介します。



## 基本方針① 生命(いのち)をまもる



- 避難中の高齢者等向けに運動教室を開催した  
仮設住宅入居高齢者等健康管理業務 / 4,389万円
- 独自の内部被ばく検査のための  
ホールボディカウンタ購入 / 4,489万円
- 東日本大震災による直接死・関連死認定の方へ支給  
災害弔慰金 / 3,379万円
- 平成23年3月11日から2年間に亡くなった方へ支給  
村単独災害弔慰金 / 4,230万円

## 基本方針③ 人と人がつながる



- いこいの場の提供  
いやしの宿運営業務 / 1,782万円
- 村民同士の絆を守るため  
情報タブレット端末を2,300台配布  
村民の声ネットワークシステム構築業務 / 1億2,692万円
- 村内のようすがタブレットで確認できるふるさとカメラ  
ウェブカメラシステム整備事業 / 3,644万円

## 基本方針⑤ ままでいブランドを再生する



- 避難先で栽培した農産加工品などを販売  
仮設直売所運営事業 / 1,671万円
- 避難先で営農再開する農家を支援する  
被災地域農業復興総合支援事業 / 3億4,767万円  
避難農業者一時就農等支援事業 / 2,140万円
- 畜産経営を継続する避難農家を支援する  
畜産農家支援事業 / 401万円

## 基本方針② 子どもたちの未来をつくる



- 子育ての経費負担を支援する  
子育てプリペイドカード交付事業 / 1,017万円
- 子どもたちの教育環境を整備した  
幼・小・中仮設校舎・園舎整備等 / 2億1,991万円  
被災児童生徒等就学支援費 / 4,588万円
- 復興を担う子どもたちを海外へ派遣した  
未来への翼事業 / 1,193万円

## 基本方針④ 原子力災害をのりこえる



- 村が国の委託を受け除染を行う  
須萱地区除染工事 / 6億2,286万円
- 全世帯に携帯型線量計を配布した  
携帯型放射線測定器購入 / 6,318万円
- 避難中の村民の大切な財産を守る  
いいたて全村見まもり隊事業 / 6億4,364万円